

飼料用米の多収品種の取組(品種名: つぶゆたか)

取組主体名: A
(岩手県八幡平市)

基本情報

- 土質: 黒ボク土
- 従事人数: 2人
- 臨時雇用: なし
- 経営面積: 7.4ha
うち飼料用米面積: 2.0ha
- 飼料用米作付開始年度: 平成24年度

取組の経緯等

- 取組のきっかけ、経緯
栽培技術が主食用米と変わらないこと。
水稻の転作で、取り組みやすいと判断したこと。
- 地域の協力体制
JAに出荷された飼料用米は、全量が
地元養豚業者に販売されている

取組のポイント

- 多収品種「つぶゆたか」により多収を実現(H27年産単収: 745kg/10a)
- 基肥を増やしたことにより、収量が増加
(Nkg/10a(基肥-追肥)...H27; 8.8-2.0、H26; 6.0-2.1)
- 低コスト肥料の使用により、肥料費を10a当たり2,681円低減

データ

	栽培方法	作付面積		単収(/10a)	
		H26	H27	H26	H27
飼料用米 (品種: つぶゆたか)	移植	0.9ha	2.0ha	584kg	745kg
主食用米 (品種: あきたこまち)	移植	4.4ha	5.4ha	600kg	600kg

生産コスト低減の取組

- 低コスト肥料(飼料用米専用肥料)の使用により肥料費2,681円低減
(H26 7,765円/10a→H27 5,084円/10a)

課題・今後の目標

- 今後の課題
既存品種より多収で耐倒伏性が優れる早生品種の導入が必要
- 収量目標
今後も安定的に標準単収+150kgを達成